

午後 試験

全問に共通して、規定字数に満たないもの、記述の乱雑なものや誤字脱字が目立つもの、論述内容が理解しづらいものがあった。このような論述では、受験者の能力や経験を正しく読み取れない場合もあり得るので、是非留意してもらいたい。

問 1（システム要件定義の準備について）は選択率が最も高く、多くの受験者が要件定義を経験していることがうかがえた。しかし、品質を確保し、かつ、効率よく行うための事前の準備に関する工夫の論述は不十分で、作業内容を列挙しただけの論述も多く、設計以降の準備に関する論述も散見された。

問 2（フレームワークの利用について）では、フレームワークを利用した経験がある受験者が数多くいることがうかがえた。フレームワークの利用における課題については、おおむねよく書けていた。しかし、課題に対する対策についての論述は不十分で、具体性に欠ける論述が多かった。また、対策をどのように効果的に実施したかを論述することを期待したが、実施した対策を列挙するだけの論述が多かった。

問 3（開発工数の見積りについて）では、開発工数の見積りを経験したことがある受験者が数多くいることがうかがえた。しかし、開発工数の見積りに影響を与えると考えた要素の記述がなく、見積り作業についての論述に終始したものや、見積りにおける工夫ではなく、開発工数削減や開発推進における工夫について論述したものが散見された。